

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、ご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

6月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、いただきましたご意見の一部をご紹介します。

ご意見①

「掃除をした際に施工してもらったコーキング剤が取れる事があるのですが・・・。」

申し訳ありません。

弊社のコーキング剤はゴキブリの習性も基づいて様々な箇所に細かく施工しております。

その際に施工した箇所の材質や塗布具合によって、取れてしまう事も稀にあります。弊社としても今後より取れにくい様に、コーキング剤の質、技術の向上に努めてまいります。

また、多少取れてしまう事も配慮して施工は細かく補える様に施工しておりますので、ご安心ください。

ご意見②

「外から入ってくる害虫に対しての策があると嬉しいのですが・・・。」

建物は通気性等の為に完全に密閉された造りになっておらず、外部から侵入する虫を完全に防ぐのは難しいところです。

しかし、弊社ではムカデやアリの侵入対策として建物外周に処置する粉剤、飛来虫の侵入にはムシポン(捕虫器)、防虫カーテンなどを取り揃えております。

ご相談に応じさせて頂くことが出来ますので、よろしくお願い致します。

ご意見③

「なるべく担当者(当日作業員)の変更がない事を希望します。」

申し訳ありません。

弊社は施工に関して現状は担当制を取っておりません。しかし、弊社の施工は委託した業者やアルバイトは雇わず、技術・対応に関して研修を重ねた正規スタッフで行っております。

今後より密な情報の共有を行い円滑な作業に心掛けていきますので、よろしくお願い致します。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。いただいたご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介しますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一部八県以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News

2014年07月号 No.0123



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(79)

外食ビジネスウィーク2014ご案内

生活の豆知識

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

健康野菜販売

街道に面した作業場前で、自然野菜の販売をしています。



販売日時は毎週火曜日から金曜日の10:00～16:00です。売り切れ御免です。

週の前半は、相原農場さん、湘南ほっと農園さんの湘南有機野菜を販売しています。後半は泉区的美濃口さんの環境保全型農法の野菜が加わります。

相原さんが有機農業を始めたきっかけは、ご身内が病気になり、根本的体質改善を自らの生産野菜に求めたことにあります。

私も販売に当たって自然野菜に拘っています。何故かと言うと、弊社は害虫駆除の専門業者です。何故その私達が、ノンケミカルやレスケミカルに拘って施工しているか？

そう、農薬や薬剤をばら撒くことがどれだけ体に悪いか！環境に良くないか！知ってるからです。

絶対に安心安全なお野菜を、旬なものだけ揃えて販売しています。だから端境期には少量しか野菜がありません。

とても美味しいです。これぞ野菜本来の味です。今、我が家の野菜は、当社で販売しているものしか食しません。

社員も積極的に購入します。いつ買ってもいいよ！って言ってます。残ることはありません。だって、るる湘南の昼の給食でも使ってるからです。

体に優しいとても美味しいお野菜たち。みなさまも近くにお越しの際は是非ご購入下さい。早い者勝ちですよ。

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCC社員コラム

サトル主任の初志貫徹日誌 除草作業が始動しました。



日差しも強くなり、草木も青々と生い茂る季節になって参りました。

夏に近づき、新芽吹きがあるのはいいですが、これから困るのが庭や駐車場の雑草の除去となってきます。

自分たちでは、なかなか手間が掛かり時間も費やす、そこである湘南では、ご依頼をいただき障がい者スタッフとともに除草作業を行っています。

日数は掛かりますが、手狩りで根元から確実に除去出来ますので、すぐに生えてきませんし、見た目もきれいになります。

これからの時期は、特に夏にかけて伸びてきますので、夏の前と秋頃に行くことをお勧め致します。

もしご用命がありましたら、ご一報下さい。



悪ムシのハエも使いようの話

今日、生活の場の季節感の様子が、すっかり変わった。
今、私が虫のシーズンの到来を知る確かな手掛かりは、テレビから溢れ出る、騒々しい、うんざりする殺虫剤のコマーシャル、CMからである。

ついでに、気になるCMは「肌が〇△」だの「腰の痛みがとれる」などの謳（うた）い文句と共に、健康食品や秘伝の薬と称えるものが溢れかえっている様子だ。

なんとも、日常生活の場に由来の正常と異常の判断のつきかねる霧回気が醸し出されているようで、釈然としない。
現代人は、何時の頃からこんなに脆弱（ぜいじゃく）で、「ひ弱」になってしまったのだと心配になる。

これは、生活の場からかつての悪疫や伝染病が影を潜め、生活環境が快適で衛生的になり過ぎたが為の所産なのだろうか。

それにしても、最近、不思議に感ずることは、殺虫剤の「CM」が溢れている割に、生活の場であまり虫の姿を見かけなくなったことである。

ことに、梅雨の季節だというのに、家の中で「イエバエ」の姿を見かけなくなったのには、驚くよりもむしろ心配な程である。

このイエバエは、昔から人の生活と密着して生活し、一つの生活文化を形作った生物であった。またこの虫は、昆虫の中でも「ハエ目」という、大きな一群をなす存在なのである。

前回、今、虫が食糧資源として注目を浴びていることを紹介した。今回は、人が今後、虫との棲み分けと共存を考えるために、過去の虫との関わり合いについて眺めてみたい。

ハエがわが国の歴史の顔を出したのは、かなり古い話である。その始まりは「日本書紀」に遡るが、その中に「天照大神（アマテラスオオミカミ）」が、孫の「ニニギノミコト」が、葦原（アシハラ）の中国に降らせるに際して、この地の状況を説明した時に、この国には「さばえ（蠅）なす邪（ア）しき神がいる」と述べられてからという。

この「さばえ」は、「五月蠅（ウルサイ）」の意味で、蠅のように騒々しい神が居るので、用心するように諭されたのだ。

これは昔、日本史の中で語られた、「天孫降臨」の神話の中の一説である。ハエが大発生した時の「ヴオン」とうるさい羽音は、良い感じはしない。

こんな神代の話は別として、昭和の初期には、一般家庭の台所には「蠅帳（ハエチョウ）」という家具があった。

これは、金網などを張って食物や食器を保管できるようにしたもので、ハエや虫の侵入を防ぐ、大切なものであった。

これが、いつの間にか姿を消し、今日では台所の「ちゃぶ台（卓袱台）」までもが見えなくなってしまった。

思えば「ハエ」は、庶民の生活の中に一家団練の場を設け、生活文化を形成させていたのかもしれない。

今では、ハエが姿を消し、生活の場の「季節」を失った気がしないではない。ハエは「害虫」として嫌われた時代もあったが、人との付き合いの浅からぬ生物ではある。

その昔、ハエの成虫は、今日では思いもつかない使われ方をしていた。その効用の程は判りかねるが、次のようなものが知られている。

*刺抜き（トゲヌキ）…ハエの頭を飯粒と押し混ぜて貼る。身体に「トゲ」が刺さった時にこれを貼って治療したのであろう。

針が、肉の中に入った状況には、「カンゾウ（甘草）」の粉末とハエの頭を糶と練ってつける。

これは「トゲ」よりも重傷の場合の処理のようで、漢方薬の「甘草」を用いているが、しかしこれは「咳止め」や「たん切り」に効き目のあるものである。

*瘡瘡（ヒョウソウ）の治療…これには沈香（ジンコウ）、生黄柏（オウバク）、生の「カンゾウ」にハエの頭の黒焼を等分に合わせて、粉末としてハコベの汁で溶いてつける。

この処方沈香は、鎮静や疲労回復の効力がある。黄柏は抗菌作用や抗炎症作用がある。甘草は消炎や神経痛の鎮痛の作用がある。ハエは打撲瘡（うちみ）、はれもの、できものなどに効くという。

以上の事を総合して考えると「瘡瘡」のような、皮下の化膿性炎症に効果があってもおかしくは無い。ただ、ハエの頭が黒焼きでなければならないのは理解できない。

*ムカデに咬まれた時…蠅の頭をつぶし、米粒と練ったものを塗る。

*マムシに咬まれた時…フジの瘤、ユウガオのツルの先端をハエの頭を合わせて粉末として、豚の油に溶いて塗る。

*ネズミに咬まれた時…ハエを陰干しにしたものを潰し、飯粒と練るか、あるいはごま油に溶いたものを塗る。

*つき目の時…つき目には、ハエの頭を飯と混ぜ、乳と合わせた汁を目の中に差す。

以上のように、日常生活の場で起こりやすい、ちょっとした傷害に重宝されていたようだ。昔、今のように薬品が手に入らない時代、必要不可欠なものであったのだろう。

ハエの成虫が「薬」として使用されていたとは、面白い話だ。これが今日使えるとは思わないが、この薬、バカにはしてはいけない。それは今「CM」で流されている「〇△に効く」と称する製品の多くは、このハエと「似て非なる」ものである。

虫は、角度を変えて眺めると、思いもつかない様々なことを教えてくれる。

【写真説明】

この「ハエ」何に見えますか？
このハエの幼虫は「五穀虫（ゴコクチュウ）」と称する漢方薬という。



外食ビジネスウィーク 2014

第9回 ラーメン産業展

第3回 日本全国名産品・特産品展

第4回 店舗環境改善展

第5回 そば・うどん産業展

第6回 飲食店開業支援展

第5回 販促・店舗装飾EXPO

第5回 パスタ産業展

第3回 ホテル・日本料理産業展

第5回 フランチャイズ・独立開業支援展

第7回 居酒屋産業展

第2回 カフェ・喫茶産業展

本業界 **日本最大!** 最新・最先端情報が集結! 出展社 **650社**・新規出店企業 **150社**以上!

招待状送付のご案内

皆様方の御支援とご愛顧のおかげをもちまして、昨年に引き続きまして今年も居酒屋産業展に出展させて頂く運びとなりました。つきましては本展示会の招待券をお送りさせていただきます。

時節柄、ご多忙と存じますが、是非弊社の出展ブースへお立ち寄り下さいませ。弊社ブース位置は**東2ホール【2H43】**になります。

社員一同、心よりご来場をお待ち申し上げます。



※注意事項※

- ・同封してあります特別招待状を会場にお持ちでない場合は、入場料5,000円が必要となりますので、ご注意ください。
- ・入場には一人1枚の招待券とお名刺が1枚必ず必要となります。
- ・特別招待状の裏面にございます来場者登録欄は恐れ入りますが、全てご記入して頂いた上で会場にお持ち下さい。
- ・同行される方がいらっしゃる場合は、通常の特別招待券を同封させて頂いておりますので、ご利用下さいませ。
- ・会場周辺の駐車場が不足しておりますので、お車での来場は大変混雑が予想されます。りんかい線、ゆりかもめなどの公共交通機関をご利用下さいませ。

また、何かご不明な点等ございましたら、弊社まで何なりとお申し付け下さい。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

開催情報

日程：2014年 7月29日(火)～31日(木)

時間：10:00～17:00

場所：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

ブース位置：東2ホール【2H43】

最寄り駅：りんかい線 国際展示場駅

ゆりかもめ 国際展示場正門前駅

最新情報：<http://gaisyokubusiness.jp/>

生活の豆知識

トコジラミの生態・対策

トコジラミ(床虱)とは吸血性の寄生昆虫のことで、シラミと命名されていますが、シラミ目ではなくカメムシ目・トコジラミ科の昆虫になります。

日本では昔から南京虫で知られていて、好発時期は5月～11月となります。

このトコジラミ、幼虫、成虫、オス、メス、すべてが吸血します。

成虫の大きさは約5～8mm、体は卵形で扁平な形態をしています。

卵から約1週間で成虫になります。またメスは、1日に5～6個卵を産みます。

トコジラミは吸血すると体が膨腫します。体色ですが、吸血前はやや赤褐色ですが、吸血後は吸血した血が透けて見えるため黒っぽくなります。また、潰すと悪臭がします。殺虫剤による衛生改善が進み、ほとんど見かけなくなりましたが、近年になり都市部を中心にトコジラミが急増してきました。

海外からの持ち込みが原因だと言われています。欧米などでトコジラミが多く繁殖し、被害が拡大しました。そのトコジラミが旅行者のカバンなどについて日本に上陸してしまったようです。

トコジラミに刺されると皮膚は赤く腫れ、強烈なかゆみに襲われます。かゆみは1週間近く続きます。

1週間過ぎても治らない場合は、皮膚科で強めの薬をもらわなければなりません。

トコジラミは家屋内に生息していて、畳の上などに黒い点々があれば、それはトコジラミの糞です。ダコと違って肉眼で見ることができます。

昼間は畳の縫い目やタンスと壁の隙間など、暗くて狭いところに潜んでいて夜になると出てきて人の血を吸います。トコジラミは全て駆除しないとイケません。一匹でも残ったらそこから増えていきます。

まず対策としては、とにかくこまめに掃除機をかける事です。生息場所になるベッドや畳の隙間、布団やじゅうたんなど念入りに掃除機で吸い取って下さい。

しかし根絶はかなり難しいそうです。お困りの際は、是非とも駆除のプロである私たちにご相談下さい。